

福山市老人大学 2015年度(第45期)修了式式辞

本日は、市内公立中学校の卒業式当日にもかかわらず、羽田福山市長のご出席・小川市議会議長・柳井市老連会長・池口元老大学長をはじめと多くの来賓、講師の先生方のご臨席を賜り、福山市老人大学2015年度・第45期修了式が盛大に挙行できますことを大変ありがたく嬉しく存じます。

一年間の学習と活動を終えられて晴れて今日の修了式に臨まれた学生の皆さん、おめでとうございます。健康管理に努め、熱心に通学され、見事、修了証書さらに皆勤賞を授与された皆さんは、老人大学生のお手本であります。重ねてお祝いを申し上げます。

老人大学事務局は、今年度を迎えるにあたって、英会話・カラオケ・立礼式(りゅうれいしぎ)の茶道を新設するなどして、老大学生の微減傾向に歯止めをかける取り組みをし、前年度を55名上回る2,693名の学生を受け入れました。

そして、4月7日の入学式を経て、13日から30教科・90クラスの本講座の授業を開始し、全員教養講座などを加えて年間36回の授業を積み重ねてきました。

7月からは、古典文学・ばらづくり・ボランティアの3教科の短期講座と「文学散歩」「太極拳とストレッチ」「水彩画で夏だより」などの特別講座及び学生祭準備委員会の開催。

8月には健康診査・福山夏まつり二上り踊りへの出演、講師との懇談会など多様な取り組みを行ないました。

秋の学生祭には、日頃の学習の成果が作品展示や演技・芸能発表で立派に披露されました。

10月末には、日々ご苦労を頂いている学級委員長さんを募っての一日研修旅行、また、各クラブ活動の大会などが実施されました。

11月には、防災避難訓練、年末の冬休みには、お正月に向けた特別講座「絵手紙で年賀状」「折り紙で干支を折る」「着付け講座」などの開催。

3学期は、新年度に向けたオープンスクール、看護専門学校生の教育実習、さらに幾つかの教科・クラブが、様々な対外的発表の場への出品や出演をなされました。

今年度も、大勢の老大学生の皆さんに、健康づくりと生き甲斐づくりのための生涯学習の場として有意義に過ごしていただけたことと存じます。

そして学生会におかれましては、伊藤会長を先頭に常に大学運営にご協力・ご尽力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、最近の老大学生の状況を整理してみたいと思います。五年前と今年度を比べると、60代前半の学生は、321名から192名に、割合は11.6%から7.1%に減少、反対に80歳以上は、443名から512名に、割合は16.0%から19.1%に増加。老大学生の平均年齢は72.1歳から73.6歳へと1.5歳向上しています。80歳を越えて元気に通学される学生が増えていることは、高齢社会の進展を反映した素晴らしいことでもあります。

しかし、高齢になれば体力や免疫力は、低下しがちです。老大学生の高齢化が進む中で、健康上の理由で入学を辞退されたり中途退学されたり、年度代わりを機に新年度の入学を控えられたりする方が増える傾向が強まっています。来年度は、学生数が今年度を下回ると予想されます。今後の大学運営を実態に即して改善しなければと思っています。

4年前に学長に就任した私は、老人大学の設置目的と学生の皆さんの実態を勘案して、大学運営の合言葉を、「健やかに・穏やかに・和やかに」と申しあげてきました。

しかし、新年度からは、「健やかに・健やかにそして穏やかに」と改めていきたいと存じます。

その手だてとして、

- 1 一昨年度から始めている老大会場とする健康診査を新年度も8月2日・3日に実施する。

- 2 休憩時間のラジオ体操を出来るだけ運動場に出るなどしてしっかりと行なう。
 - 3 体を動かす教科を充実させる。
 - ・ 具体的には、太極拳の二クラス目を開設。
 - ・ 7月から短期講座「健康体操」を開設。
 - 4 運動クラブの活動を強化する。
 - 5 学生祭の役割分担方法を改善する。
- などに取り組みます。

福山市は今年、市制施行 100 周年を迎えました。市内には今年 100 歳を迎えられる方が、百名以上居られ、希望の方に肖像画をお贈りする準備が全市的に行われています。老人大学の水彩画の学生さんにもその一部を担当いただき、14 名の方の立派な肖像画を描いていただきました。

また、福山市の花であるバラを 100 万本に増やして市制施行 100 周年をお祝いする取り組みの一環として、3年前から老大学生対象のバラづくり講座を開設し、受講生の皆さんに家庭や地域さらに「ふれあいプラザ」のバラ花壇のお世話を担っていただいております。

なお、福山出身の日本を代表する本格ミステリー作家・島田荘司氏の原作「星籠(せいろ)の海」が、福山市制 100 周年記念映画・探偵ミタライの事件簿シリーズとして、福山を舞台に、主役・玉木宏で制作され、6月4日ロードショーオープンとなっています。

先月、地元上映実行委員会が結成され、特別鑑賞券 7 万枚の販売をめざすこととされました。老人大学としても、この特別鑑賞券の積極販売に取り組みたいと存じます。皆様のご協力をお願い申し上げます。

老人大学は、職業生活や子育てなどを終えて、第 2 の人生を豊かに過ごそうとする人々が集う生涯学習の場であり、同じ年月を重ねてきた同世代の者同士としての友情を育てていく場でもあります。

従って、これまでどのような仕事をしてきたか、どんな社会的立場にあったかなどの前歴を競いあったり、詮索したりすることは、老人大学の設立趣旨に反することです。まして、他人の個人情報をも本人の了解もなく、他の人に漏らしたり、誰かを差別したりすることは、絶対に許されることではありません。互いの人権を尊重し合い、全ての老大学生が等しく分け隔てなく楽しく過ごせる場でなければなりません。

今日も式典の冒頭で、市民憲章を唱和しましたが、私達は、差別のない明るい住みよい町づくりを目指し長年に亘って努力を積み重ねてきました。

若い世代に模範を示す立場にある人生の先達が集う老人大学で、その成果を無にするようなことは断じてあってはなりません。

これからの老人大学は、高齢者の生涯学習の場であることはもとより、

- ・ 関係機関の協力を得た、健やかな生活を応援する活動
- ・ 交通マナーの向上をめざした日常指導
- ・ 地域を始めとする様々な分野でのボランティア活動

そして、何よりも若い世代へのお手本となる振る舞い

これらのことに重きを置いた大学運営が求められていると強く思っています。

学生の皆さんを始めとする多くの関係者のご意見を伺いながら、老人大学の一層の充実・発展を図っていく決意を申し述べて、今年度を修了するにあたっての式辞といたします。

2016 年（平成 28 年）3 月 10 日

福山市老人大学 学長 高橋 和男